

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ギフトぶらす		
○保護者評価実施期間	2025年2月3日		～ 2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年1月30日		～ 2025年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の工夫、充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2週にわたって関連した活動を行い、子どもたちが活動を理解して参加することや、自信を持って参加できる機会が増えるように支援している</li> <li>・その日の活動に対する振り返りを行い、より子どもたちが楽しく参加できる活動になるようブラッシュアップしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な発達段階の子どもたちが楽しめるよう、段階分けをした活動設定をしていく</li> </ul>
2	保護者との連携や支援の機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳を用い、活動の様子や連絡事項を共有している</li> <li>・個人面談や保護者座談会(ぶらす会)など、保護者の方と顔を合わせてお話をする機会を設けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供時間内のやりとりが難しい保護者の方とも意思疎通しやすいよう、来年度からアプリを導入する</li> </ul>
3	資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内スタッフによる研修(1回/月)、外部講師による研修(1回/月)を行っている</li> <li>・ギフトぶらすだよりに、専門職スタッフのコラムを掲載している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内で幼児期に特化した勉強会を行う</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルや避難訓練等の周知が十分でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎サービスの利用が増え、事業所内での掲示では全員に周知することが難しくなってきた</li> <li>・曜日によって来所する児童が違い、避難訓練に全員が参加することが難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギフトぶらすだよりのホームページを活用し、皆さんが閲覧することができる方法で周知を行っていく</li> </ul>
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもたちと交流する機会がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在利用児は全員並行通園で、所属先にて交流がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園や所を対象とした特別な交流の計画は今のところないが、ギフトグループ全体の行事には近所の方を招待して交流を図っていく</li> </ul>
3	幼児向けではない箇所がある バリアフリーではない箇所がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービスも共用の施設である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援の時間帯に幼児向けの環境設定に変更できる箇所を検討する(視覚的な提示や整頓など)</li> </ul>

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援ギフトばらす						
					公表日	2025年2月28日	
					利用児童数	39 (R7年1月時点)	
						回収数	10
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10				子どものことをよく見て、丁寧に作成して頂いています。見やすく、分かりやすい計画書です。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10				目標は分かりやすく、支援内容は具体的に理解しやすい。優先順位がついているのも分かりやすいです。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			1	・利用を始めただけでまだ分からない。 ・季節の行事などに合わせた工夫された活動が多く、楽しく参加できている。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1		5	利用を始めただけでまだ分からない。 グループ全体行事に近所の方をご招待することもあります。開催がない年もありますが、来年度は開催に向けて取り組む予定です。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10				話しやすい空気を作っていた頂き、相談しやすいです。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9			1	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10					

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援ギフトぶらす
------	--------------

公表日 2025 年 2 月 28 日

利用児童数 39 (R7年1月時点)

回収数

10

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				活動内容や様子など毎回連絡帳で書いて頂いて、分かりやすいです。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1		2		毎月発行のギフトぶらすだよりにて、活動内容やコラムなどをお知らせさせて頂いております。今年度新たにHPも完成しましたので、活用して参ります。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			6		避難訓練については、グループ全体のものと事業所ごとのものを行っております。今後はギフトぶらすだよりにて、避難訓練の取り組みについてお知らせするよういたします。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	2		6		スタッフのみでの訓練や感染対策の取り組みも行っております。おたよりやHPを活用してお知らせさせて頂きます。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1		2		安全計画を策定して支援を行っております。おたよりやHPを活用してお知らせさせて頂きます。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			1		
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	10				毎回とても楽しみにしています。	
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				ギフトぶらすの日をととても楽しみにしています。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	10					

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援ギフトがらす	公表日	2025 年 2 月 28 日
------	--------------	-----	-----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動内容等により人数に対してスペースが狭いと感じる時には、部屋を分けて活動を行っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		集団療育の中で個別対応が必要な場合には、活動の内容等を調整する必要がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	放課後等デイサービスと共用のスペースであるため、幼児向けに環境を変えながら療育を行っている	・幼児向けではない箇所がある ・バリアフリーではない箇所がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎朝室内の清掃を行っている ・活動内容に合わせて、大型備品の移動を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個室が2部屋あり、子どもの様子に応じて使用している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年度末に評価の機会を設け、そのアンケート結果を参考に次年度の改善点を話し合っ決定している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年度末に評価の機会を設け、そのアンケート結果を参考に次年度の改善点を話し合っ決定している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1		事例なし
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月に2回グループ内での勉強会を行っている その他、各専門職スタッフはそれぞれ外部の研修会に参加している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・パンフレットやHPにてプログラムの枠組みを公表している ・詳細の支援プログラムを今後公表予定	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		個別支援計画書作成の際は保護者の方へのモニタリング・所属園への聞き取りを行い、スタッフで会議を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		可能な限り、その子に関わるスタッフが全員会議に参加するようにしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		主にはインフォーマルなアセスメントであるが、必要に応じて専門職スタッフがフォーマルなアセスメントを行っている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節のイベントを取り入れながら、子どもたちの発達状況に応じた活動を設定している	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援ギフトがらす	公表日	2025 年 2 月 28 日
------	--------------	-----	-----------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		療育の記録を作成しながら、子どもの様子の共有や活動の振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		個別支援のモニタリング時とは別に、子どもの様子に応じて随時連携を図っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	園や保護者を通じて、個別支援計画書を活用して頂いている	保護者や学校の求めに応じて、小学校との連携を図っていく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1	福山市児童発達支援連絡協議会に参加し、情報提供や学習会の機会がある	・個別なスーパーバイズの事例は無し ・今後必要に応じて、センターへの依頼を行っていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		利用児は全員併行通園のため園との交流の計画はないが、ギフトグループ行事の際に地域の方を招いていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・保護者のお迎え時に、療育の写真や動画を用いながら子どもの様子について共有している ・送迎利用の児は、連絡帳を活用している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・月に1週間、参観日週間を設けている ・月に1度行っている保護者座談会の中で、スタッフが専門的な視点でのお話をする		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援ギフトばらす		公表日 2025年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・必要に応じて随時面談を行う ・年中冬から年長冬にかけて、3回の就学に関する面談を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		月に1度行っている保護者座談会の中で、テーマを決めて保護者同士の交流を図っている	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月「ギフトばらすだより」を発行し、前月の活動内容の解説や、専門的なコラム、行事等のお知らせを行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2		今年度の開催はなかったが、おまつりやもちつきなど、近所の方を招待している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		グループ全体および事業所ごとの訓練を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1		・アレルギーについて、利用開始時の調査票で確認を行っている ・食事やおやつを提供する機会は基本的にはないが、そのような時は保護者同席で行うようにしている	今後必要に応じて、担当医師への指示を仰ぐ
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	グループ全体での研修を行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		事例はないが、今後必要に応じて保護者への説明を行っていく	